

団員の声/hot voice

災害に強い地域づくりを

入団当時は操法大会の選手として2年間訓練に励みました。厳しい訓練でしたが、今でもその時の団員たちとは一緒に頑張ったという特別な思いがあります。

火の元点検や防火訓練で住民のみなさんが防災に意識を持っていただいたとき、「地域の中の消防団」を実感します。

消防団、行政、市民が一体となった取組みにより、災害に対して強い地域になってほしいと願っています。



あわはら ふじよし
栗原 藤義さん
(国府町広瀬町)

広範な市域に重要な消防力



しもだ はつあき
下田 初秋さん
(高根町留之原)

中心市街地から離れた地域ほど消防と住民との連携は重要になります。しかし、過疎化で若者がいなく、団員が皆無の地域も増えており、緊急時に不安を持っています。

市が広範になった分、行方不明者捜索の初動対応など地域の消防力がますます重要であると感じています。

今年の市操法大会に若い団員が頑張ってお出場できたことはうれしかったですね。私も精一杯支援していきたいと思っています。

地域の担い手育てる側面も

消防操法を例えるなら「大人の部活」。厳しい訓練を重ねるうちに団員の連帯感が強まります。選手を支える団員のサポートがあって大会の場に立てるのだと実感しています。

消防団は市民の生命・身体・財産を守ることが第一ですが、地域と密接なつながりを持った団体であることから地域の担い手を育成する側面も併せ持っています。やがて、その成果が発揮されるものと信じています。

今後も消防団活動を通じて地域に貢献できるよう頑張ります。



ほりい けんじ
堀井 賢治さん
(丹生川町町方)

それぞれが 仕事を持って 活動しています

地域の消防防災のリーダーとしてさまざまな活動に取り組んでいる消防団は、あなたの地域でも活躍しています。そんな団員のみなさんの生の声を紹介します。

親しみある女性団員目指す



ふじた あこ
藤田 亜子さん
(上岡本町4)

操法大会や出初式、バケツ注水大会など消防行事のスタッフや、救命講習の講師、防火訪問などの活動に取り組んでいます。

消防団は、人の生命を守るため、災害の発生を防いだり軽減する活動をしています。そんなところに団員としてのやりがいを感じています。

男性的なイメージが強い消防団ですが、女性団員として組織の活性化につなげたいですし、市民に親しみを感じてもらえる女性団員を目指したいです。

自分を誇れる団員になりたい

結婚を機に高山に来ました。同じ町内会の団員の方から声をかけていただいたのが入団のきっかけです。知人の知人といった形で、班員以外の方との交友関係も広がりました。また、「地域を守る」といった責任感も持てるようになりました。

今年は補助員として操法大会に出場しましたが、来年は選手として出場し、優秀番員賞を取れるように頑張りたいと思っています。

消防団の活動には、家族も快く送り出してくれています。



げん だ けんじ
元田 亨さん
(桐生町2)